

# こんにちは 日本共産党県議団です

**石坂ちほ** 総務企画警察委員会



## 発達障害児への 支援充実を

認可外保育施設の発達障害児への支援について、県に市町村へのアンケート結果も踏まえて保育士の加配など具体的な支援の実施を要望。

国・県の補助がある幼稚園でも、補助対象とならないが特別な支援を要する園児が多く、発達障害児支援の充実を強く要望しました。

**小林伸陽** 健康福祉委員会



## 生活保護申請の 是正求める

生活保護申請にあたり、親族の扶養（援助）が受給要件であると誤解させる恐れのある照会文書が長野市を含め全国多数で使われていた問題で、緊急に県内調査と是正策を求めました。

県担当課からは、誤った表記をしていた12市への是正指導、市町村への徹底を図るとの説明がありました。

**高村京子** 環境商工観光委員会



## リニア 地元の声第一に

リニア中央新幹線計画に対し、生活・自然環境への影響、安全性・電力確保の問題など、地元や専門家から様々な指摘があります。

来年3月末にJR東海に提出する知事意見書は、この声を踏まえ、計画の凍結・中止も視野に入れ毅然としたものにするよう求めました。

**和田あき子** 文教企業委員会  
(委員長)



## 中学の 朝練廃止について

運動部の朝練習の原則廃止など、中学生の部活動のあり方を見直す方向が県教委から示されました。

賛否があるなか、生徒・保護者・先生・県民への丁寧な説明と合意づくり、実効性が求められる、との文教委員会での審議を踏まえ、教育長に対して委員長として申し入れました。

**両角友成** 農政林務委員会



## 農作物の 凍霜害について

春の凍霜害に関連して、被害農家から要望の強い共済金の支払いについて、現状を質しました。

県担当課からは、ぶどう・なし等は12月初めに、りんごはまだ出荷が続いている関係から来年になる。被害の大きかった中信地域は1月末には仮払いするとの説明がありました。

**藤岡義英** 危機管理建設委員会



## オスプレイ 飛行訓練について

2～3月に群馬、新潟両県で行なわれる自衛隊と米海兵隊の共同訓練にオスプレイを使用する計画について、長野県上空の飛行はあるのか、防衛省から連絡があったのか等質問。現在のところ連絡はないとのことで、飛行訓練はやめるべきとの立場から県の対応と引き続き情報収集を行なうよう求めました。

## 2014年度予算に向け要望書提出

県民の皆さんから寄せられた要望を踏まえ、新年度の予算編成に反映するよう、重点17項目を含む216項目について知事要望を行いました。(11月25日)

### ■主な項目と知事答弁

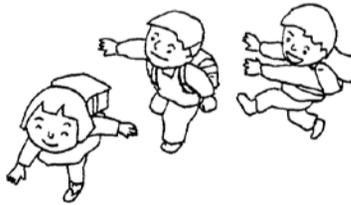
- 1 特定秘密保護法案に対し、危機感を持って国に反対の意思を伝えて。  
答弁：一定のものを守っていく事について、必要性はある。
- 2 TPPは、即時交渉から脱退することを国に働きかけること。  
答弁：政府が主要5品目を守っていく対応をしてほしい。
- 3 福祉医療費の窓口無料化について、具体的な実現を。  
答弁：市町村ともよく相談した上で考えていきたい。
- 4 オスプレイの飛行を中止するよう強く国に要請を。  
答弁：全国知事会と足並みをそろえて対応していきたい。
- 5 浅川の治水計画に、遊水地を本格的に位置付けること。  
答弁：地域のみなさんと調整していく。

## 2012年度決算認定に反対討論

和田議員は、県職員をピーク時より4,083人も削減した上さらに1,300人以上の削減を計画し、また危険な浅川ダム建設への予算執行などの2012年度決算は認められないとしました。



後列左から、ふじおか義英、小林伸陽、両角友成  
前列左から、和田あき子、石坂ちほ、高村京子



藤岡議員は一般質問で、伊那や丸子のメガソーラー、南木曾町のバイオマス発電計画を取り上げ、「山林伐採による土石流や発電材料の輸入ヤシ殻の環境汚染への心配、反対運動など、各地でトラブルが起きている」として「施設建設には住民合意に基づくルール作りが必要。条例の制定を検討すべき」と提案しました。

知事は「市町村との意見交換など幅広く検討する」と答えました。



11月議会に向け、年末年始の生活困窮者対策、県営住宅への風呂設置、全国学力テストの公表中止などを知事に申し入れ(11月6日)

## 長野県子ども支援条例を良いものに

子どもへの支援施策を検討してきた「子どもの育ちを支えるしくみを考える委員会」は、議論の中間とりまとめを知事に提出し、県はこれを受けて9月に「長野県子ども支援条例(仮称)」骨子案を発表しました。

県議団はこの間、県弁護士会や子どものびのびネットワークと懇談を行ない「子どもは保護の主体ではなく、権利の主体であること」を基盤にした条例の制定、「子どもの育ちを社会全体で支える環境整備」などが必要との意見を交換しました。

県議団は、これからの条例の制定作業に当り、子どもたちへのアンケート結果などを始め幅広い県民の声を生かし、良いものを創り上げるよう知事に申し入れました。

## 地元を守る条例の制定を

「中学生期のスポーツ活動検討委員会」が、中学生の部活動の現状分析と適切なスポーツ活動のあり方についての報告をまとめました。報告書では、睡眠不足、家庭での学習や休養時間の不足を指摘。成長期の発達についての医学的知見からも適切な運動時間の基準が必要としています。

石坂議員は一般質問で、「平日の総活動時間は2時間程度、原則朝の運動部活動は行なわない、部活延長の社会体育は見直す、という報告について歓迎したい」とした上で、教育長に「朝練廃止に当たっては、長年の懸案であるだけに丁寧な合意づくりに努めてほしい」と求めました。

## 再生可能エネルギーは地域の財産

藤岡議員は一般質問で、伊那や丸子のメガソーラー、南木曾町のバイオマス発電計画を取り上げ、「山林伐採による土石流や発電材料の輸入ヤシ殻の環境汚染への心配、反対運動など、各地でトラブルが起きている」として「施設建設には住民合意に基づくルール作りが必要。条例の制定を検討すべき」と提案しました。

知事は「市町村との意見交換など幅広く検討する」と答えました。